

令和8年度 児童相談所職員研修 実施要綱

「こどもの育ちをつなぐソーシャルワーク」

1. 目的 児童相談所の職員としての専門的知識を習得し、職務遂行能力および自己啓発意欲を高めることを目的とする。
2. 主催 こども家庭庁支援局
3. 運営 国立武蔵野学院附属人材育成センター
4. 場所 国立武蔵野学院
5. テーマ・日程・申込〆切 (各研修の概要は次頁以降の各研修概要のとおり)

研修種別・テーマ		開催日程	募集定員	〆切
児童相談所一時保護施設 スーパーバイザー研修 [武蔵野学院] 「こどもの育ちをつなぐ一時保護施設運営」 ^法	コースⅠ	令和8年8月3日～8月5日	30名	4/30 (木) 必着
	コースⅡ ※2回目以降	令和8年9月2日～9月4日	30名	
児童相談所一時保護施設 実務者研修 [①、②は武蔵野学院、③はオンライン] 「こどもの育ちをつなぐ一時保護施設のあり方」	①令和8年11月18日～11月20日 ②令和8年12月14日～12月16日 ③令和9年1月6日～1月8日		①:30名 ②:30名 ③:30名	7/31 (金) 必着
児童相談所職員 テーマ別研修 [武蔵野学院] 「家庭養育(里親養育)における 児童相談所の役割」		令和8年8月19日～8月21日	30名	4/30 (木) 必着

6. 参加申込方法

(1) 申込み：申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。

（宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp）。なお、やむを得ない場合のみ、PDF 又は郵送でも受け付けます。

※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。

※申込数が募集人数を超えた場合は参加の可否について、事務局からご連絡いたします。選考の際に、経歴を参考にする場合があります。申込書の経歴の部分は詳細にお書きください。

※参加決定通知及び詳細な要綱については、参加所属長宛に概ね研修2ヶ月前に送付します。

※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みが漏れないようしていただけますようお願いいたします。

(2) 〆切：上記表に記載（必着のこと）

※各研修ともに、初日に交流会を予定しています（オンライン研修を除く）。

7. その他

諸般の事情により、日程及び内容、費用に変更が生じる場合がありますことを予めご了承ください。

<事務局（申込先）>

国立武蔵野学院附属人材育成センター 研修課

〒336-0963 さいたま市緑区大字大門 1030 番地

TEL 048-878-1260（音声案内2番）

FAX 048-878-1244

E-mail musashino.kensyu@cfa.go.jp

児童相談所 一時保護施設 スーパーバイザー研修

1. テーマ 「こどもの育ちをつなぐ一時保護施設運営」
2. 目的 様々な背景、課題を抱えたこどもの支援を行うスーパーバイザーの立場から一時保護施設の人材育成と運営について考える研修
※「一時保護施設の設備及び運営に関する基準」第20条第4項に基づく研修
3. 対象者 コースⅠ：本研修の受講が初めての者で、児童福祉領域での経験及び児童相談所での勤務が概ね5年以上、各一時保護施設において指導的立場にある者
コースⅡ：本研修の受講が2回目以降の者で、児童福祉領域での経験及び児童相談所での勤務が概ね5年以上、各一時保護施設において指導的立場にある者
4. 期間 コースⅠ 令和8年8月3日（月）～8月5日（水）
コースⅡ 令和8年9月2日（水）～9月4日（金）
5. 場所 国立武蔵野学院
6. 内容 (1) 事前レポート 「一時保護施設における現状と課題」（予定）
(2) 講義及び演習
行政説明及び一時保護ガイドライン及び社会的養育の動向、一時保護所におけるアセスメントと関わり、関わりながらの行動観察、チームアプローチ、人材育成、所内連携、機関連携、グループ討議等
6. 費用 宿泊 16,000円程度（寝具レンタル料、食費等）
通い 1,200円程度（昼食代）
※初日に交流会を予定しています。
7. 申込み ✕切日 令和8年4月30日（木）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
(宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp)
※役職、職名等は必ずお書きください。
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みが漏れないようにしていただけますようお願いいたします。

児童相談所 一時保護施設 実務者研修

1. テーマ 「こどもの育ちをつなぐ一時保護施設のあり方」
2. 目的 様々な背景や課題のあるこどもの支援に対する適切な対応を学ぶとともに、一時保護施設における必要な具体的知識を学ぶ研修
3. 対象者 一時保護施設での勤務経験が概ね5年以内で、現在一時保護施設において勤務している者
4. 期間
1グループ 令和8年11月18日(水)～11月20日(金) ※宿泊研修
2グループ 令和8年12月14日(月)～12月16日(水) ※宿泊研修
3グループ 令和9年1月6日(水)～1月8日(金) ※オンライン研修
5. 場所 1、2グループは国立武蔵野学院、3グループはオンライン。
6. 内容
(1) 事前レポート 「一時保護施設における業務に関する課題、問題点」(仮)

(2) 講義及び演習
一時保護所におけるアセスメント、関わりながらの行動観察、一時保護施設における日々の養育、所内連携、被措置児童等虐待の防止等といった講義や、演習、また、参加者同士の情報交換等
7. 費用
宿泊 16,000円程度(寝具レンタル料、食費等)
通い 1,200円程度(昼食代)
オンライン 無料
※各研修ともに、初日に交流会を予定しています(オンライン研修を除く)。
8. 申込み
×切日 令和8年7月31日(金) 必着
申込書(Word)に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
(宛先: musashino.kensyu@cfa.go.jp)
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みが漏れないようにしていただけますようお願いいたします。

児童相談所職員 テーマ別研修

1. テーマ 「家庭養育（里親養育）における児童相談所の役割」
2. 目的 児童相談所職員として、専門性をより向上させるためのステップアップ研修
3. 対象者 各児童相談所において、現在勤務している者（職種は問わない）
4. 期間 令和8年8月19日（水）～8月21日（金）
5. 場所 国立武蔵野学院
6. 内容

（1）事前レポート 「児童相談所と社会的養護との連携に関する課題点等」（仮）
「事例レポート」（仮）

（2）講義及び演習
行政説明機関、社会的養護におけるこどもの育ち、施設養育、里親養育の現状と課題、実践報告、事例検討、グループ討議等を通して、専門性を高める。
7. 費用 宿泊 16,000円前後（寝具レンタル料、食費等）
通い 1,200円前後（昼食代）
※初日に交流会を予定しています。
8. 申込み ✕切日 令和8年4月30日（木）必着
申込書（Word）に必要事項を全て入力し、メールにて申込書を送付してください。
（宛先：musashino.kensyu@cfa.go.jp）
※必要事項が全て記入されていない場合、受け付けられないことがあります。
なお、やむを得ない場合のみ、PDF又は郵送でも受け付けます。
※ここ数年、各自治体間のメールシステム・セキュリティシステムの違いから、ファイルを添付すると届かないという事態が何件もあり、申込みが漏れるということがありました。メール送信の際には、開封通知をつけるなど、確認がとれるようにして申込みに漏れないようしていただけますようお願いいたします。